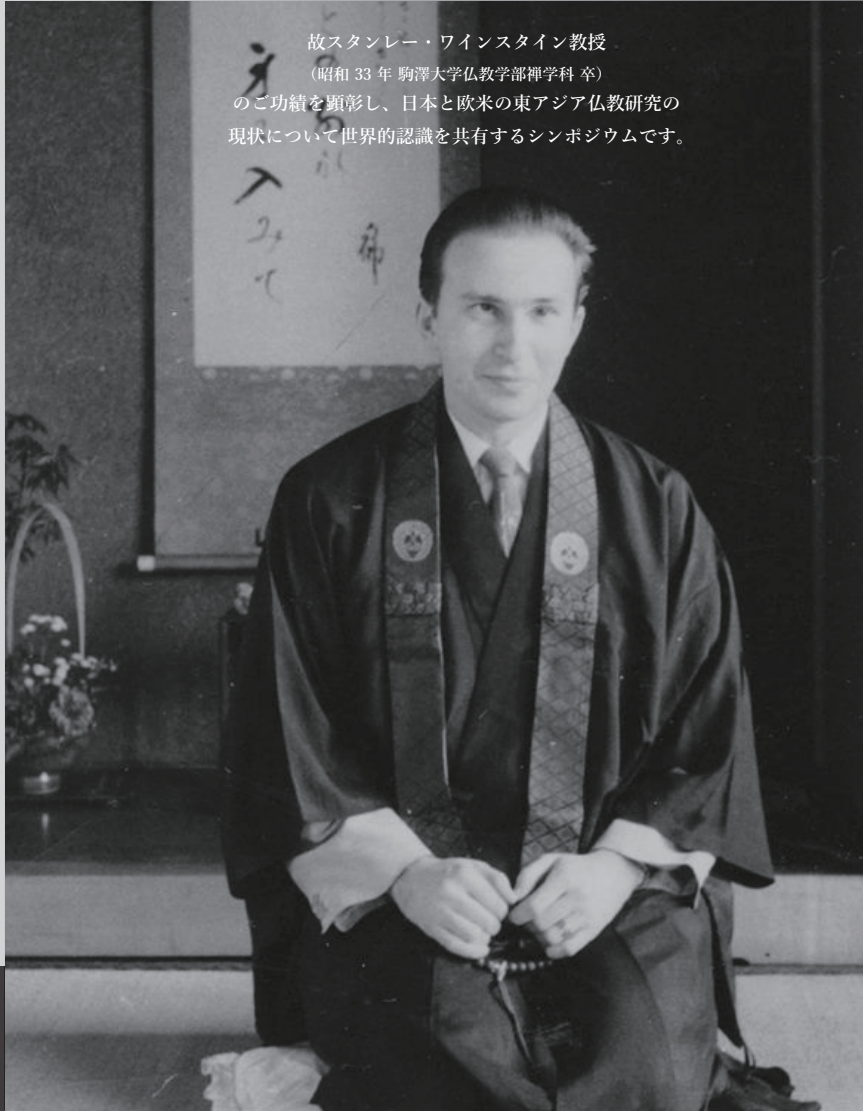


故スタンレー・ワインスタイン教授
(昭和33年 駒澤大学仏教学部禅学科 卒)
のご功績を顕彰し、日本と欧米の東アジア仏教研究の
現状について世界的認識を共有するシンポジウムです。



ワインスタイン教授追悼国際シンポジウム

東アジア仏教研究のあけぼの

Stanley Weinstein's Legacy in the Study of East Asian Buddhism

平成30年12月15日(土)・16日(日)

駒澤大学 中央講堂 (駒沢キャンパス)

15日(土)

10:00~

ワインスタイン教授(慈恩院鷲嶺實成居士)追悼法要

導師:池田魯参駒澤大学総長(仏式)

11:20~

基調講演:ポール・グローナー(ヴァージニア大学名誉教授)

「鎌倉時代の戒律復興の背景:真言律の叡尊の『聴聞集』を中心に」

13:30~17:00

研究発表

16日(日)

10:00~17:00

研究発表

発表予定者(15日・16日) 順不同・敬称略

ウィリアム・ボディフォード(UCLA)、ジェイムス・ドビンズ(オペーリン大学)、ダニエル・ゲッツ(ブラッドリー大学)、ティム・パレット(ロンドン大学)、モルテン・シュルッター(アイオワ大学)、龔輪顕量(東京大学)、山部能宜(早稲田大学)、リチャード・ジャフィ(デューク大学)石井修道(駒澤大学)、石井公成(駒澤大学)